

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		アグリテック集積事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	企業誘致推進係	管理番号	38313
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	アグリテック集積戦略			
	小項目	4	産業価値の創出						
	主要プロジェクト	2	農業の強みを生かした産業振興プロジェクト						
事業概要		本市の産業特性や経済波及効果を踏まえた企業誘致施策として、アグリテック企業の集積を図る事業である。深谷市発の農業技術の進化・変革を発信し、農と食に関わる企業や技術革新を得意とする企業を誘致・集積することにより、全国でも名だたる農業先進都市「DEEP VALLEY」を目指す。							
目的 ※何のために		地域農業課題の解決と地域経済の活性化							
対象 ※誰・何を対象に		アグリテック企業							
手段 ※どのように		アグリテック企業との交流増加、実証実験の伴走支援、現場とのマッチング							
成果 ※何を求めるか		アグリテック企業の誘致・集積							
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	アグリテック集積事業	62,420,237
本事業の 主な業務	・アグリテックアワードの開催							・	
	・アグリテック交流拠点の運営、交流会の開催							・	
	・アグリテック実証実験の実施支援							・	
	・アグリテック企業の誘致							・	
	・							・	
	・							・	

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		アグリテック企業の誘致策（アワード、交流会、実証実験の支援）を実施する。	アグリテック企業の誘致策（アワード、交流拠点の運営、交流会、実証実験の支援）を実施する。	アグリテック企業の誘致策（アワード、交流拠点の運営、交流会、実証実験の支援）を実施する。	アグリテック企業の誘致策（アワード、交流拠点の運営、交流会、実証実験の支援）を実施する。	アグリテック企業の誘致策（アワード、交流拠点の運営、交流会、実証実験の支援）を実施する。		
事業費	予算（現額）	60,395,000	72,295,000	88,000,000	75,437,000	90,910,000		
	決算額	33,851,000	44,976,392	62,831,118	62,420,237	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	33,851,000	44,976,392	62,831,118	62,420,237	90,910,000	
一般財源	0	0	0	0	0			
人件費	従事職員数（人）	1.30	2.40	2.10	2.40	2.40		
	人件費相当試算※	10,230,425	19,224,396	17,266,707	20,345,026	21,140,374		
総事業費試算		44,081,425	64,200,788	80,097,825	82,765,263	112,050,374		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
		実績値の算出式								
成果指標 1	交流拠点利用者数		目標値	人		500.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			実績値			245.00	1,229.00	1,340.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		利用者=100人／月で算出							
	実績値の算出式									
成果指標 2	市外企業の訪問数		目標値	社		15.00	50.00	50.00	50.00	50.00
			実績値			23.00	92.00	132.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各年度末の現場実装ステータスの数値比較による							
	実績値の算出式									
成果指標 3	アグリテック実証実験数		目標値	件	10.00	24.00	27.00	30.00	33.00	36.00
			実績値		21.00	24.00	28.00	32.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和4年度の実績より、毎年3件ずつ新たな取組を行う。							
	実績値の算出式									
成果指標 4	有償サービス提供開始数		目標値	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績値		4.00	6.00	11.00	12.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	アグリテックアワードの実施やアグリテック交流施設の運営を継続して行うことができた。また、指標にはなっていないが、大学など教育機関での講義、視察の対応、メディア対応なども多く実施することができ、事業の認知拡大に貢献することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	各指標とも目標の数値を上回る水準で推移しており、特に市外企業の訪問数は、昨年度以上に目標を大きく上回ることができた。 ただし、各指標の増加をその先の企業誘致という成果に繋がられていないという課題もあるため、今後もこの数値水準を維持しながら、質の向上などを目指し、企業の市内定着に繋げていく必要がある。
			評価者 室長補佐兼企業誘致推進係長 小暮 正樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	会議におけるオンラインツール（Zoom等）の利用や、チャット等のコミュニケーションツールの利用などにより効率的な業務を行っている。 一方で、事業の進捗に従ってアグリテック企業との打合せ件数などが増加傾向にあるため、議事録作成などにおいてICTやAIを活用して更なる効率化を図り、事務量の軽減を図っていく必要がある。
			評価者 室長補佐兼企業誘致推進係長 小暮 正樹